

(1) - 街路樹に関する基本的事項

(1) - - 1 道路の緑を捉える基本的な視点

街路樹などの道路の緑は、公園、河川の緑等とともに都市に生活する人達に「やすらぎ」や「うるおい」、「親しみ」などを与えてくれる重要な存在であるといえる。そのため、緑の少ない都市において、道路は緑を確保する重要な場所として従来どおり量的拡大を図るとともに、地域の実情に対応した地域らしさを感じさせる多様な道路の緑の実現を目指す必要がある。また、より一層の質的向上を目指して管理を充実させる必要がある。

緑量の確保	<ul style="list-style-type: none">・街路樹は多様な機能を持っているが、その第一義は整然と連なった緑が創り出す都市景観にあることは、従来から言われていた。・並木としての統一美を表現し、健全にいきいきと生育した街路樹の姿は立派な都市景観を形成し、「都市の顔」をつくる。・「緑が豊かに育つ」空間を道路に確保するように努めることは大切なことである。
多様な緑の実現	<ul style="list-style-type: none">・道路の緑は、従来の並木形式の街路樹だけでなく、落葉樹や常緑樹が不規則に混植された植栽形式や「花が咲き、実がなる」緑化道路やまちかど庭園など、時代のニーズに対応して、多様な道路の緑が創出されてきた。・そして、こうした道路の緑が全国的に求められている。・このような多様な道路の緑の実現に向けて、それぞれの場所の特性を生かし、地域に住む人々の視点、歩行者の視点、そこを訪れる人々の視点など、様々な視点から検討し、道路の新設時だけでなく、既存の道路の見直しも図り、個性ある生活空間をできるだけ多く創り出していくことが望まれる。
道路の緑の管理	<ul style="list-style-type: none">・樹木は四季折々の表情を見せ、年とともに成長するだけでなく、人々の心のよりどころとなり、地域のシンボルになっていく。・それゆえに、緑の管理は建物や工作物の管理と異なり、つくる以上に管理が重視されている。・とりわけ、道路は街路樹が生育するには多くの制約があり、競合施設等と折り合いをつけながら、維持していかななくてはならないため、きめ細かな管理が必要になる。

出典：「街路樹剪定士必携」第2回改訂版（社）日本造園建設業協会（2001）